



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東
コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝部 慎一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長 (氏名) 松岡 昌哉 TEL 011-812-1131
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,865	0.0	1,112	△14.8	1,138	△14.3	800	△16.3
2026年3月期第1四半期	5,863	33.7	1,305	423.6	1,328	390.9	956	414.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	94.68	—
2026年3月期第1四半期	113.12	—

（注）「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	22,262	17,206	77.3
2026年3月期	23,402	17,518	74.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 17,206百万円 2026年3月期 17,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	22,500	△2.6	3,330	△32.9	3,410	△32.4	2,270	△41.2	268.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記」(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	8,459,000株	2026年3月期	8,459,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	162株	2026年3月期	162株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	8,458,838株	2026年3月期1Q	8,458,918株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における日本経済は、今年に入りようやくプラスに転じた実質賃金や高止まりしている株式市場など明るい材料がある一方で、極端な円安による輸入品を中心とした物価高などマイナス面もあり国内景気動向は見通しが立てづらくなっています。国際情勢ではアメリカとイランの間で一度は結ばれた停戦協定が事実上破棄されるなど中東情勢は緊迫したままであり、さらに停戦の兆しがみえないウクライナ紛争など日本を取り巻く環境も極めて不安定な状況となっております。

昨年10月以降今年4月までに鳥インフルエンザ発生が確認された採卵鶏農場は17事例、殺処分された採卵鶏は合計で530.5万羽となりました。感染が確認された農場ではその後採卵鶏の再導入が進み、徐々に鶏卵供給力が回復してきたため鶏卵相場は6月に入って若干軟化しました。この結果、当第1四半期累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ327円54銭（前年同四半期比1円11銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ316円25銭（同21円61銭安）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は、原料となるトウモロコシ相場、穀物運賃の上昇や円安の影響から当第1四半期累計期間は前期（2026年1～3月）比でトン当たり1,250円の値上げとなりました。一方、当該期間の購入数量に対して飼料安定基金からの補填金がトン当たり2,950円交付されました。

当第1四半期累計期間における業績は、販売数量は前年同四半期比で若干減少したものの、売価の改定努力の結果、当第1四半期累計期間の売上高5,865百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益1,112百万円（同14.8%減）、経常利益1,138百万円（同14.3%減）、四半期純利益800百万円（同16.3%減）となりました。

また、第2四半期以降については、北半球の穀物の作柄状況、為替動向、中東情勢、及び今年秋以降の国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況が、当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

なお、当社は鶏卵事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末に比べて2,025百万円減少し8,113百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1,952百万円、その他が108百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて885百万円増加し14,148百万円となりました。これは、主として建物が150百万円、機械及び装置が275百万円、土地が256百万円、有形固定資産のその他が169百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて1,140百万円減少し22,262百万円となりました。

②負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末に比べて749百万円減少し3,892百万円となりました。これは、主として買掛金が249百万円増加した一方で、未払法人税等が894百万円、賞与引当金が81百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて78百万円減少し1,163百万円となりました。これは、主として長期借入金が68百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて828百万円減少し5,056百万円となりました。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて312百万円減少し17,206百万円となりました。これは、主として利益剰余金が298百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想については、2026年5月15日の決算公表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,304	5,352
受取手形及び売掛金	2,044	2,069
商品及び製品	116	119
仕掛品	14	14
原材料及び貯蔵品	268	275
その他	390	282
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	10,139	8,113
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,975	8,125
構築物（純額）	676	700
機械及び装置（純額）	1,401	1,676
車両運搬具（純額）	24	39
土地	1,384	1,640
その他（純額）	557	727
有形固定資産合計	12,020	12,910
無形固定資産	166	172
投資その他の資産		
投資有価証券	626	609
その他	450	456
投資その他の資産合計	1,076	1,065
固定資産合計	13,263	14,148
資産合計	23,402	22,262
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,394	1,643
電子記録債務	232	181
1年内返済予定の長期借入金	274	274
未払法人税等	1,286	391
賞与引当金	163	81
役員賞与引当金	53	—
その他	1,238	1,319
流動負債合計	4,642	3,892
固定負債		
長期借入金	859	790
退職給付引当金	183	188
役員退職慰労引当金	105	90
資産除去債務	78	78
その他	15	15
固定負債合計	1,241	1,163
負債合計	5,884	5,056

(単位：百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	15,428	15,129
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,237	16,938
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	281	267
評価・換算差額等合計	281	267
純資産合計	17,518	17,206
負債純資産合計	23,402	22,262

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,863	5,865
売上原価	3,976	4,170
売上総利益	1,886	1,695
販売費及び一般管理費	581	583
営業利益	1,305	1,112
営業外収益		
受取配当金	7	8
仕入割引	7	7
受取賃貸料	8	8
その他	2	4
営業外収益合計	25	28
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	2	2
その他	0	—
営業外費用合計	3	2
経常利益	1,328	1,138
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	76	94
その他	0	4
特別利益合計	76	98
特別損失		
固定資産除却損	13	58
その他	0	4
特別損失合計	13	62
税引前四半期純利益	1,391	1,174
法人税等	434	373
四半期純利益	956	800

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	288百万円	294百万円